



はまべのうたキッズ

合川小3・4年生

米内沢小5・6年生

秋田声楽研究会混声合唱団

第14回浜辺の歌音楽祭

第14回浜辺の歌音楽祭が、11月3日に北秋田市文化会館で開催され、市内の小中学生やコーラスグループが成田為三の楽曲や趣向を凝らした合唱曲を発表し、美しい歌声を響かせました。

浜辺の歌音楽祭は『浜辺の歌』をはじめ優れた童謡や歌曲などを数多く作曲し、日本を代表する作曲家として知られる本市米内沢出身の成田為三を顕彰するとともに、歌声のあふれる活気あるまちづくりにつなげることを目的に、平成18年から開催しており、今回で14回目を迎えます。今年は小中学校やコーラスグループなど19団体が出演しました。

開会セレモニーでは、成田為三作曲の「浜辺の歌」と「北秋田市民歌」を参加者全員が合唱。続いて主催者を代表し佐藤教育長が「この音楽祭は、成田為三先生の出身地として、本市の音楽文化を継承し発展させる誇るべき祭典。本日は、参加された皆さんが心豊かな時間を共有できる一日となることを願う」などあいさつを述べました。

このあと、祖母が北秋田市出身のヴァイオリニスト加登萌々子氏の記念演奏が行われ、心地よい音色で聴衆を魅了しました。

この日は、午前・午後の2部構成で行われ、各団体が2曲から3曲を披露。出演団体は、曲に合わせて振り付けしながら、笑顔でのびのびと歌いあげ、ホールに美しい歌声が響きました。



ヴァイオリニスト
加登萌々子さん

鷹巣東小全校児童

森吉中3年生

北秋田市
地域おこし
協力隊

きたあきたの
魅力
発掘

vol.21



高橋彩子隊員

「きりたんぽまつりと
どぶろく」

あきた発酵ツーリズムガイドの認定を受けた事もあり、どぶろくの製造者として10月12・13・14日の3日間、きりたんぽまつりにどぶろくを出品し、お酒の説明をさせていただきました。出品したどぶろくは、めでたく完売!!



どぶろくを知らないお客様、若い方も多かったことや、今までのどぶろくを知っている人もいました。たがもつと知ってもらうためにも身近に感じてもらう伝え方だけでなく、伝え方を工夫

しました。そこで考えたキーワードは「食べるお酒」。どぶろくは、ご存知の通り醗がたくさんはいっています。販売する側としては、濃くして販売する事は出来ないで、濃くしてす、どうしても醗が入ってしまいう為、にがり酒と勘違いして買っている方、とつつきにくいお酒なので、

「どぶろくは食べるお酒。栄養たっぷりの醗が入っているの、ぜひ他にはない感じを楽しんでください。」と伝えたと、面白いから試してみよう・食べるお酒って気になる。と購入されるお客様が多く、美味しかった・初めての感覚といった感想を頂きました！

これからは、「食べるお酒」をキーワードに、どぶろくを知らない人にも広く知って味わってもらえるように頑張ります!!

ショー コリガン

安の滝と紅葉

今年は暑くて、紅葉のスタートがいつもよりのんびりだったと感じています。夏が秋になり、雪が降る前の山が燃えているように見えるのを、毎年楽しみにしています。でも、このように楽しみにするようになったのは、大人になってからです。ふるさとに紅葉がないのではなく、おしろ、恵まれ過ぎて、小さい頃に当たり前に思ってしまったからです。

ふるさとの「ニューイングランド地方」は、紅葉で有名です。砂糖カエデやオーク、ブナやカバノキ、トネリコなど、見渡す限り赤・黄・オレンジという紅葉の各色に染められて…そういう景色を味わうために、アメリカの東西南北

私が見た北秋田

Kitaakita from My Eyes NO.41

から大勢の方々がいらっしゃいます。道路のど真ん中に車を止めて、葉っぱを鑑賞している人もいます！

10月頃、安の滝を見に行ってきました。樹種は違いますが、大自然に囲まれ、森林を歩く雰囲気がふるさとと非常に似ています。心が癒される感じが共通しています。しかも、ありがたいことに、安の滝は歩道のど真ん中に車を止める人がいませんでした。

